

## 第3回 今治市総合都市交通体系調査 検討委員会

### 検討委員会概要

1. 開催日 平成21年2月20日（金） 午後1時30分～午後3時30分
2. 開催場所 本庁第2別館11階 特別会議室1号
3. 出席者  
委員長（敬称略）  
柏谷 増男  
委員（敬称略・順不同）  
倉内 慎也、谷川 めぐみ、赤尾 宣宏、新居田 久佳、平野 文雄、門田 正孝、植松 真二（代理）  
高松 諭、宮脇 直志、矢野 有（代理）、竹内 靖正、谷口 健一郎  
事務局（敬称略）  
高橋 潤三郎、大澤 篤司、田鍋 文浩、武下 正芳

### 4. 会次第

1. 開会
2. 開会挨拶
3. 委員長挨拶
4. 議事
  - (1) 第2回検討委員会での指摘事項への対応について
  - (2) 交差点実態調査の概要について
  - (3) 自動車交通の特性分析について
  - (4) 現況の交通量推計と分析について
  - (5) 交通課題の明確化について
  - (6) 将来フレームについて
5. 閉会

### 議事録

#### 1. 開会

都市政策課長	お待たせいたしました。定刻が参りましたので、ただいまより、『第3回 今治市総合都市交通体系調査 検討委員会』を開催させていただきます。座ったままで失礼させていただきます。 委員の皆様におかれましては、大変お忙しい中ご出席いただき、誠にありがとうございます。 本日、都市整備部長が所用のため欠席いたしますので、私のほうから一言ご挨拶を申し上げます。
--------	---

#### 2. 開会挨拶

都市政策課長	前回の11月に行いました第2回目の検討委員会につきましては、委員の皆様方から大変貴重なご意見を頂戴し、誠にありがとうございました。この第2回目の検討委員会につきましては、都市圏構造分析や交通現況分析等についてご審議いただくとともに、公共交通網の課題に対し、当該調査の検討を行わないということでご了承を頂きました。 本日は、第2回目の検討結果を受けて、また、昨年度に行った実態調査結果をもとに、データの処理などを行った結果を、皆さんにご報告するとともに、平成42年における将来交通量推計を行うための将来フレームの設定などについて、ご審議を頂く予定となっております。これらの内容は、今治市の総合都市交通体系を策定する上で骨格となる重要な事
--------	--

	<p>項となっておりますので、よろしくお願ひいたします。</p> <p>それでは、まず、代理出席の方がいらっしゃいますので、ご紹介をさせていただきます。お手元に配布しております委員名簿の順にご紹介をさせていただきます。</p> <p>(委員紹介)</p> <p>以上により、当委員会の開催に必要な定員でございますが、過半数を満たしておりますので、その旨 ご報告をさせていただきます。</p> <p>では、議事に入ります前に、配布資料の確認をさせていただきます。</p> <p>まず、事前にお配りしております「会次第」、「委員名簿」、「第3回 今治市総合都市交通体系調査 検討委員会 資料」、「ゾーニング及びゾーンコード表の参考資料」、そして、本日お配りいたしました「配席表」、「メモ紙」、「パワーポイント配布資料」以上でございます。そろっておりますでしょうか。</p> <p>それでは、委員長から一言ご挨拶を頂きたいと思ひます。</p>
--	--

### 3. 委員長挨拶

委員長	<p>みなさんこんにちは。</p> <p>本日は足元の悪いなか、また日頃お忙しい中をお集まりいただきましてありがとうございます。先程の課長さんの説明にもありましたように、今回第3回目の委員会で実態調査の結果がでております。これにつきまして、皆様方が日頃お感じになっていることをです、いろいろご意見をいただければありがたいと思っております。</p> <p>それから、将来の交通量予測をする上で今治市の将来像というのをどういうふうを考えていったらいいんだろうかということ、フレームの設定という形で今日はお話したい。また、来年度調査の前提となることを今日は皆様方でお認め願ひまして、そこから将来交通量の推計ということに、これ以降入りたいと思っております。</p> <p>皆様、日頃お感じになっていることがデータによく表れているところもあるし、またちょっと違うところがあるかもしれませんが、そういうことにつきましても活発なご意見が頂ければありがたいかなと思っております。</p>
都市政策課長	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、これより議事進行は委員長にお願いしたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。</p>

### 4. 議事

委員長	<p>それでは、議事を進めてまいります。まず、議事録の公開についてお話いたします。当委員会の議事録につきましては、今治市のホームページにおいて公表しておりますが、委員の皆様が自由に発言していただくために、発言者の氏名については公表しないこととしたいのですが、いかがでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p> <p>それでは、特にご意見、ご異議ないようでございますので、議事録につきましては、発言される方の氏名を伏せて、ホームページにより公表させていただきますことといたします。</p> <p>それでは、議事に入ります。</p> <p>「1. 第2回検討委員会での指摘事項への対応について」、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	(資料説明)
委員長	<p>ありがとうございました。ただいまの説明につきまして、何かご質問、ご意見はございませんでしょうか。</p> <p>それでは、特にご意見もないようですので、次の議題に移らせていただきます。「2. 交差点実態調査の概要について」事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	(資料説明)
委員長	<p>ありがとうございました。それでは、ただいまの説明に関連いたしまして、何かご質問、ご意見等ございませんでしょうか。</p>

	では、皆さんには少し考えていただいて、私の方から一つ質問させていただきます。交通量カウント調査の方で、今治IC交差点と片山交差点いずれも南行きの方が北行きよりもだいぶ交通量が多いということですが、これは日交通量ですか、それともピーク時のものですか。
事務局	ここでご説明させていただいた交通量カウント調査は、ピーク時の17時台、夕方の5時台1時間に限った交通量カウント調査の結果でございます。朝ピーク・夕ピークともに3時間ずつ調査を行ったわけですが、この5時台が今治市においては一番交通量が多かったものですから、この1時間における時間交通量についてご説明させていただいたわけでございます。
委員長	ということは、やっぱりこれは大西町方面なり野間方面の通勤先から、ずっと南部の方の住宅地に帰ってくるという車が多いというふうに理解していいですね。  他に、何かご意見等ございませんでしょうか。 それでは、特にございませんでしたら、「3. 自動車交通の特性分析について」事務局から説明をお願いいたします。
事務局	(資料説明)
委員長	ありがとうございました。それでは、ただいまの説明につきまして何かご質問、ご意見等はございませんでしょうか。
A委員	現況のデータについては、よくまとめていただいていると思うんですけど、過去のデータとの対比というのはまだされていないのでしょうか。特に今治の場合、市町村合併でかなりの市町村と合併したわけですが、そういったことによって交通の流れというのが変わってきたのか、ほとんど変わってないとか、そういったところの分析をやはりしておく必要があると思うんですけども。
事務局	過去のデータとの比較ですが、今回行った実態調査と同じレベルで調査を行ったのは、平成2年の総合都市交通体系調査になりますが、その時の調査結果では旧町村との結びつきまで詳しく出せていない状況であり、現時点では市町村合併前後において、どのように交通が変化したのかについて分析できていないところです。そのため、今後当時の調査データを参照して、比較できるデータがあれば比較分析させていただきたいと思います。
委員長	旧の市町村単位の交通ということであれば、交通センサスでもある程度調べることができると思うので、次回までにそういったところも調べておいて下さい。
委員長	その他に、何かご意見等ございますか。 それでは、特にございませんでしたら、「4. 現況の交通量推計と分析について」事務局から説明をお願いいたします。
事務局	(資料説明)
委員長	それでは、ただいまの現況の交通量推計と分析について、何かご質問、ご意見等ございませんでしょうか。 では、また細かい事でお知りになりたい事がございましたら、事務局の方にお尋ねいただきたいと思います。 次に、「5. 交通課題の明確化について」事務局から説明をお願いいたします。
事務局	(資料説明)
委員長	それでは、交通課題の明確化について何かご質問、ご意見等ございませんでしょうか。
B委員	交通課題の所ですけど、交通混雑区間での対応が必要という中の3番目ですけども、「事業完了までのソフト面、局所的なハード面での対応が必要」とありますが、具体的にはどんな考え方、イメージを持っておられるのか、あれば聞かせていただきたいと思います。
事務局	局所的なハード面での対応と言いますのは、交差点において交通混雑が指摘された箇所が多々みられますが、そういった所に、例えば右折レーンを設置することによって混雑の解消が図れるのではないかとということです。 また、ソフト面での対応というのは、例えば信号のサイクルを青時間・青矢印等を含めて操作することにより、交通混雑が緩和されるのではないかとということです。交差点によっては、歩行者や自転車専用の現示等がございますから、そういうの見直すことによって交通がスムーズに流れていく交差点もあるのではないかなと思っております。
B委員	はい、分かりました。
A委員	「安心・安全な地域づくりに向けた道路面からの対応が必要」という所ですけども、災害時の備えや交通事故削減ももちろん大きな課題だと思うんですけども、それに加えて、

	特に少子高齢化時代に高齢者とか車椅子の人達が安心・安全で通れるようなバリアフリー化ですとか、こういった対応もここに加えていただきたい、力を入れていただきたいなと思っておりますので、ご検討をお願いします。
事務局	バリアフリーにつきましては、バリアフリー基本計画という別の計画がございまして、こちらのほうで既に計画書を作っております、それに伴い実施中の所もございます。ただ、確かに高齢者という位置づけといいますか文言等がございませんので、この文言につきましては、この安心安全な地域づくりの所にも付け加えたいと思っております。
委員長	その他に何か、ご意見等ございませんでしょうか。
A委員	では1点だけ、37 ページのですね、断面需給比の話なんですけれども、C断面を見ますと1.01という数字をもって1.0を超えているから容量を拡大するというのは少し言いすぎではないかなと思います。1.01 であるから通常需給バランスがとれているというのが普通ではないかと思うんですけれども、そのあたりいかがでしょうか。
事務局	確かに、1.01 ですからほぼ容量OKということなんですが、机上的のと言いますか、ここでは1.0を超えている部分について表現させていただいております。なお、この部分につきましては、同じODといいますか、並行する今治小松自動車道等が出来ることによって混雑が解消されるんじゃないかと考えております。そういう意味では問題がない区間ではないかなと思っておりますので、ご理解のほどよろしくお願いたします。
委員長	他に何かありませんか。
C委員	この資料の中に、時間帯別の交通量で目的別の交通量、発生集中量が19 ページ以降に書かれておりますが、トータルの交通量が書かれていてトータル交通量のグラフが作られていないのは、何か意図があるのかなと、疑問点としてお伺いしたいと思っております。 それともう一つ、31 ページの交通量推計結果の考察に混雑度というのが出ておまして、私どもで管理しております196 号の暫定2車線区間が赤で塗られているんですが、これはたぶん数値的にはこういう事だろうと思っておりますが、一方で、旅行速度調査の方を見ていただきたい。14、15 ページですが、この区間、消防署前から朝倉入口・長沢という所くらいだろうと思っておりますが、比較的高いですね。信号が無い分高く出ていて、ここを通られる方は、2車線で狭くなる場所はあるんですけれども、比較的信号が少ない区間でよく流れていると感じられているのではないのでしょうか。それで、それよりおそらく市街地に入ってきて、信号が立って続けに来る所の方が不快感があるのではないかなと思いますけれども。そういうことで、一概に混雑度というのは、正確に言うとなんかそういうふうに出ざるを得ない数字だと思っておりますけれども、机上で整理しないといけないうのも分かりますし、混雑度という一つの指標ではありますが、もう少し現実の実態をよく見ていく必要があるのかなというふうに思います。
事務局	まず一つ目のご質問は、発生集中量の目的別のグラフは説明資料に出されているけれども、トータルでの発生集中量のグラフが出されていないというご質問でございましたが、トータルでの発生集中量のグラフは、確かに説明資料の中に表記していません。今回の説明資料の中では、トータルで表すよりも目的別で表した方が、より分かり易いのではないかとということで、トータルでの表記は割愛しております。
C委員	たぶん朝の8時台にピークがくるんじゃないかなと思っておりますが、朝の7時と夕方の5時がたぶん5万台弱くらいで、朝の8時が5万5千台くらいじゃないかなと思っております。たぶんそういう実態を正確につかまなきゃいけないというのと、今回交差点交通量カウントがいずれも夕方やっておりますので、そこの数値上と感覚的なものとは違うと評価をしないと、そこだけがちょっと疑問に思ったものですから。
事務局	交差点の交通量カウント調査につきましては、夕ピークの時間帯だけではなく、朝のピーク時間帯についてもデータを取っております。今回の説明においては、調査結果から一番交通量が多かった夕方の5時台において、その結果をご説明させていただいた次第です。今治の場合、朝のピーク時間帯よりも、交通量をとってみますと夕方のピーク時間帯の方が交通量が多いという状況もございまして、そういう意味で夕方の5時台を参考に説明させていただいております。 また、二つ目のご質問ですが、長沢といいますか暫定2車線の国道196号の区間の所ですけれども、確かに2車線道路という形で交通容量を設定しているものですから、混雑度が高く出てきております。旅行速度調査をやると、その部分は確かに速度がかなり出ている状況でございまして、おっしゃられるように信号等がない区間ですので走りやすい区間であると思われまして。また、沿道に商業施設等がない区間ですので、そういった意味では右折する車もいないということで、速度がそこそこ出ているといえますか、十分走れてい

	るという状況でございます。
委員長	<p>前半のご指摘の所ですが、将来の交通量を配分した後の結果をどういうふうに見ていくのか、朝のピーク時で見ていくのか夕方のピーク時でみていくのか、伝統的にはおそらく朝のピーク時で見ていくんだと思いますが、そういうところに関ってくると思いますので、資料を簡単に見せていただければありがたいかなと思います。</p> <p>他に何かございませんでしょうか。</p>
D委員	<p>課題がいろいろと書かれていますが、課題を踏まえた上でこれからいろいろな対応策を見出していくと思いますが、時に相反する部分が出てくるように思います。高齢者、安全・安心という観点からですと、歩行者が通過しやすいようにという話ですとか、もう少し歩道を広くしましょうという話が出てくると思います。そこで、道路の交通容量が減ってきて、今度は混んでしまうという関係性が出てくるのではないのかなと思います。それで、個々にあげていただいている課題は、おっしゃる通りだと思うのですが、やはり優先順位というか方針が出ると思うのですが、その方針みたいなものは何か持っておられるのか、或いはそれ自体を委員会で決めるのか、今後こういったものに対応するような形でどういう観点から交通量配分をやっていくのか、そのあたりの今後の方針を教えてくださいたいと思います。</p>
事務局	<p>はい。この4つの課題なんですけれども、今治市の当初の目的といいますか、この調査をさせていただいている当初の主な目的は、長期未着手の都市計画道路の変更が必要だということで着手させていただいた経緯がございます。そういう意味では、4番目に掲げております最後の柱といいますか、その部分が優先順位的には一番大きい課題のひとつでございます。ただ、これに付随させていただきまして、安心・安全とかですね、そういった課題にも対応していきたいと思っております、そういった意味では、今後将来交通需要を配分した結果を踏まえながら、これらの課題について対応させていただきたいと思っております。以上でございます。</p>
D委員	<p>交通量配分自体をどういうふうにするのか、そういった方針はあるのですか。例えば、安心・安全に対応するなんらかの政策というか、そういったものは考えていかななくてはいけない。こんな事したらこんな結果になるというようになるとは思いますが、それに関して方針みたいなものがあるのでしょうか。</p>
事務局	<p>将来交通需要を出して将来交通量を配分したら、例えば交通量がのらない現道みたいなものも出てくるのではないかなと思っております。そういう所については、車をのせるのではなく、逆に歩行者や自転車に特化したような道路整備が考えられるのだろうなという一つの切り口ですけれども考えています。そのために、こういった4つ柱を使って、政策というのではないのかもしれませんが、方向性を見出していききたいなと思っております。</p>
委員長	<p>よろしいですか。他に何かご意見等ありませんか。</p> <p>それでは次の議題、「6. 将来フレームについて」事務局から説明をお願いいたします。</p>
事務局	(資料説明)
委員長	<p>それでは、このフレーム設定に関するご意見、ご質問などございませんでしょうか。</p> <p>では、私の方からよろしいでしょうか。1点は、最後に国の方で進めているものと調整をつけられるという事なので、その時に出てくる事かもしれませんが、従業者人口の推計にあたって、過去のトレンドを伸ばしておられますが、全国レベルで言われていることは、将来ものすごい労働力不足になるんだと。そうすると外国人労働者を入れるかそうでなければ高齢者にもっと働いてもらわないかん、女性も就業率を高めないとということになる。一方、ミクロの面から見ると、我々若い人を見て、もう専業主婦はありえないと思うんですね。ちゃんと女房子供を養っていけるような男はこれから出ないと思うんですね。一家全員働き、お父さんの給料だけではやっていけない、一家全員で働いてやっただという事になると、みんなが結局働く事になって、就業率がたぶん将来上がってくると思うんですね。これはおそらく42年の将来推計をやる時点では、国レベルではこういう議論が出てくると思いますから、人口は減っていくから車の台数が減るんだというふうにはならないと思いますのでちょっと注意しておいてください。</p> <p>もう1点はですね、39ページの将来フレームの考え方で、これはどこまでの範囲の区間を把握しようとしているのか、ちょっと不明なんで、ピンボケになるかもしれませんが、路線別交通量を推計してそれで容量以下になってるからOKだという議論だけでは、人口が減っていくから道路はいらないということになるわけですね。そうじゃなくて、将来我々</p>

	<p>の生活水準ですね、交通のサービス水準をどれぐらいにするのか、それで人口が減ってきても交通サービス水準は将来もっとより良い水準を得たいと思うんですね。より良い水準を達成しようという目標があったら、例えば人口が減っても道路整備はある程度していかなきゃいけないということが出てくると思います。単に従来の需給バランスだけを取っていったらですね、もう人口が減っていくんだから道路はいらないという単純な答えが出てくる可能性があるんで、その辺りはこれから将来の計画の中で考慮してやっていただきたいと思います。</p> <p>その他、何かありませんでしょうか。</p>
D委員	<p>人口フレームは基本的に現況をそのまま伸ばした形だと思うのですが、今治市さんの上位計画で反映されたものは何かあるのでしょうか。</p> <p>例えば、現状のままというのも1つだと思いますが、こういう街にしたい、中心部にまとめたとか、そういう事になりますと、当然人口フレームは変わる話だと思いますし、それから大規模な店舗が立地してきましたらゾーン別の従業人口みたいなものも相当変化してくると思うんですけども。そういう点、今後分析とか何かされる事はあるのでしょうか。</p>
事務局	<p>それらにつきましては、次年度になるんですけども、新都市などの開発整備等も含めまして将来フレームに反映させていただいて、Bゾーンレベル、Cゾーンレベルになるんですけども、そういったフレーム設定をした上での就業人口ですとか従業人口のフレーム設定をしたいと思っておりますので、もう少しお待ちいただければと思います。</p>
委員長	<p>その他、委員の皆さん何かございませんでしょうか。</p>
E委員	<p>ゾーン別で、今治9というのが片原町だけで今治市9区を構成しているんですけども、もうちょっと大きな一つの区域になってもというのが疑問になったので質問させていただきます。</p>
事務局	<p>このゾーンコード表はですね、Bゾーンと言いまして国がやっている道路交通センサスに基づくゾーン設定の部分なんですけれども、9番の所は港湾関係がございましてそういう意味でこの部分だけ特別に設定したということでございます。</p>
委員長	<p>港湾関係というのはですね、対外的に今治市からそれ以外の所に出て行く窓口になりますよね。だからそこは特別に押さえているという意味になります。</p> <p>その他、何かありませんでしょうか。</p>
F委員	<p>将来フレームについて、平成42年を一つの軸にして考えていく事じゃないかと理解しましたが、平成42年といたら今から20年も先の話で、20年も前といたら僕が今治にUターンしてきた年です。20年もあれば、例えば一つの商業施設ができて衰退する位の期間じゃないかと思えますけど、そこまで先のことを考える事が必要なんだろうと思えますが、資料として分かりやすいのは、もうちょっと手前32年くらいの方が理解しやすいのかと思います。その頃になったらこの道もできていると、はっきりしているんだろうと思うんですけど、42年とする理由はどういうことかなと思いまして質問させていただきました。</p>
事務局	<p>道路計画等を立てる上で、20年後というのが一つの目安になっておりまして、そういった意味で、概ね20年後の平成42年を目標年次としております。直近の32年の目標というものも中期的レベルでの整備プログラムとは言わないんですけども、そういった優先順位の付け方をさせていただいた上で、ある路線については32年までにはできるとか、そういう位置づけみたいなものについては、今後出来れば行いたいと思っております。</p>
委員長	<p>それは、今の予定では42年については配分交通量を出すには出すとして、32年でも簡略的なものを出されることはありますか。</p>
事務局	<p>予算等の関係もございまして、32年における配分交通量を出す予定は今のところございません。</p>
委員長	<p>そうすると42年の現況を見ながら32年についてはこういうふうな姿とか、こういう課題が出てくるとかという事を整理することは出来るんですよね。</p> <p>それでは、そういう形で32年については対応していただきたいと思います。</p> <p>他に何か、皆さんの方からございませんでしょうか。</p> <p>今日の議論全般に渡ってのご質問やご意見でも結構ですので、何かございませんでしょうか。</p>

## 5. 閉会

委員長	それでは、特にご意見がないようでしたら、以上をもちまして本日の会議を終了いたします。 最後に、事務局の方から連絡事項があります。
都市政策課長	本日は、貴重なご意見をいただき誠にありがとうございました。 次回の開催は少し間が開きますが、夏頃を予定しております。詳しい日程が決まり次第ご案内をさせていただきますので、よろしくお願いいたします。 本日は長時間、どうもありがとうございました。